

## 意見書案第14号

### 全ての駅をバリアフリー化するための法制化を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を  
求める。

平成30年9月27日提出

提出者	中間市議会議員	草場満彦
賛成者	〃	田口澄雄
〃	〃	田中多輝子



## 全ての駅をバリアフリー化するための法制化を求める意見書

障がい者が必要なサービスを楽しみながら、自立し、安心して暮らすためにも公共施設等のバリアフリー化が喫緊の課題である。

今年も駅員が常駐し、バリアフリーが整備された駅で、視覚障がい者の転落死亡事故が発生しており、痛ましい事故が繰り返される事態は深刻である。視覚障がい者にとって駅ホームは、欄干のない橋に例えられるほど危険な場所であるにもかかわらず、安全対策がなされずバリアフリー化されていない無人駅は、事故が発生する可能性が高く整備が急がれる。

今後さらに人口減少が進んで行く中で、地方において駅の無人化が増えていくと考えられるため、政府に対し、移動等円滑化の促進に関する基本方針に規定されている人数規定を撤廃し、全ての駅において、高齢者や障がい者等が安全に利用し、かつ円滑に移動できるよう、バリアフリー化を更に推進するとともに、人数規程を撤廃する法制化を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月27日

中 間 市 議 会

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

国土交通大臣 石井 啓一 様